

今年度の**技術発表会**では、  
研究成果を紹介する**技術発表**に加え、  
各グループのからの**研究・技術支援説明**、  
研究担当者と直接交流していただく  
**マッチング会**や、新たな**導入機器の**  
**見学会**など、  
今後のセンター利用に役立つ  
メニューを満載して、  
皆様のご参加をお待ちしています！

研究開発・技術支援の成果を、  
分かりやすく紹介します。

平成 23 年度山口県産業技術センター

# 技術発表会

平成 24 年

**3/1** 13:00—17:10  
Ⓜ (受付**12:30**-)

場所：山口県産業技術センター 多目的ホール  
(宇部市あすとぴあ 4 丁目 1 番 1 号)

## ● 技術発表

### <環境関連>

- **環境浄化型無機系固化材料の開発** 環境技術グループリーダー 三國 彰  
建設現場等で発生する建設汚泥の固化材料として、スラグや廃石膏ボードの再利用が考えられていますが、フッ化物イオンが溶出するため、問題となっています。そこでフッ素の不溶化技術の検討を行い、土壌固化材の開発を行いました。
- **熱蒸散セラミックスによるヒートアイランド対策技術** 環境技術グループ研究員 細谷夏樹  
近年、ヒートアイランド現象による都市部の気温上昇が問題となっています。そこで、蒸発散特性と潜熱効果に優れた保水性セラミックスの作製と評価を行い、ヒートアイランド対策材料としての開発に取り組みました。
- **PP マトリックス複合材料の化学分離によるリサイクル技術の開発** 材料技術グループリーダー 友永文昭  
自動車内装材等には、PP に PET フェルトを融着した材料があり、これは物理的に分離ができずリサイクルは困難でした。そこで、PET のみを化学的に完全分離することにより主成分の PP を元の用途にリサイクルする方法を開発しました。

### <生活関連>

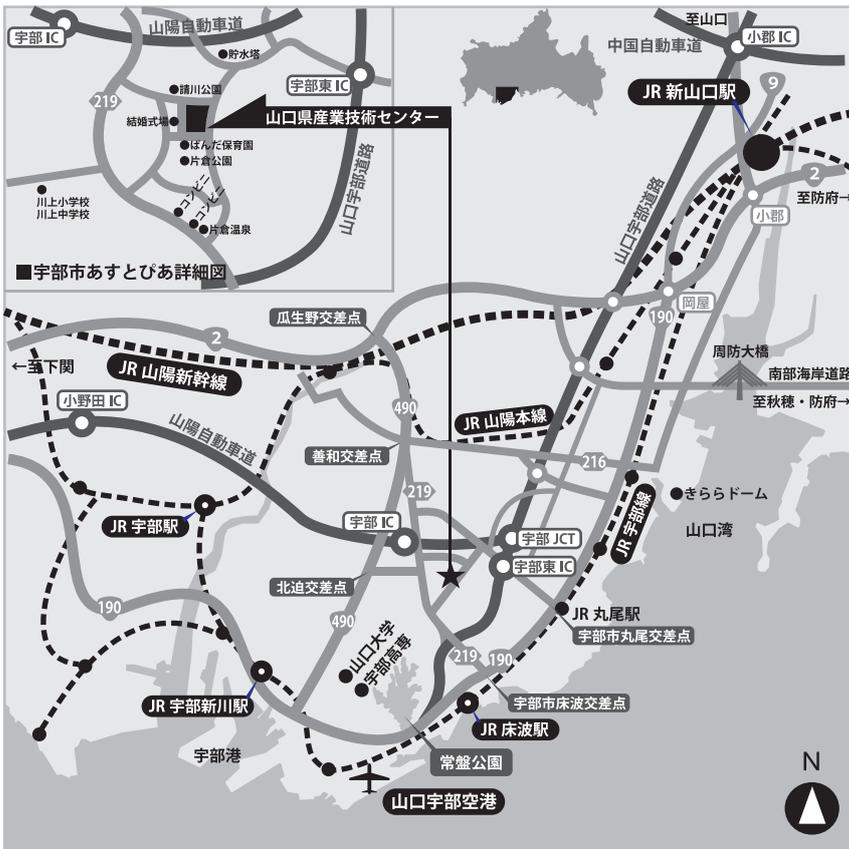
- **災害時に住民の安否確認を支援する RFID システムの開発** 設計制御グループリーダー 松本佳昭  
近年、世界的に大規模な自然災害が頻発し、甚大な被害に見舞われています。このようなことから、自律無線ネットワークが可能な小型無線端末と、RFID システムを用いて避難してきた住民情報を共有できるシステムを開発しました。ここでは、開発したシステムの概要と実施したフィールド実験結果について報告します。
- **人間工学的手法を用いた内視鏡手術用鉗子ハンドルのデザイン開発** デザイングループ専門研究員 藤井謙治  
内視鏡手術において使用される鉗子ハンドルは、多くが海外で開発された製品です。そこで、人間工学的手法を用いて日本人に使いやすいデザインの検討を行い、新たな鉗子ハンドルの開発を支援しました。
- **家庭用小型搾油機に関する開発支援** デザイングループ専門研究員 松田晋幸  
従来、市販されている搾油機のほとんどが業務用であり、家庭内で使用するには大きさや重量、操作性など問題が多くありました。本発表では家庭内での使用を考慮した、小型搾油機の製品開発支援の取り組みについて報告します。  
※搾油機：植物の種子等から油をしぼり出す装置

● **グループ発表** 当センター 7 グループの研究や技術支援について説明します。

● **マッチング会および平成 23 年度購入機器見学会**

## ● プログラム

- 13:00-14:00 <環境関連>技術発表 (3件)  
 14:00-14:30 <環境関連>グループ発表  
 ● 加工技術グループ ● 材料技術グループ  
 ● 環境技術グループ
- 14:30-15:00 休憩、マッチング会 (ポスター展示)  
 15:00-16:00 <生活関連>技術発表 (3件)  
 16:00-16:40 <生活関連>グループ発表  
 ● 設計制御グループ ● 電子応用グループ ● デザイングループ ● 食品技術グループ
- 16:40-17:10 H23 年度導入機器見学  
 マッチング会 (ポスター展示)



## 参加申込書

**FAX : 0836-53-5071**

E-mail : sangaku@iti-yamaguchi.or.jp

● 本申込書に必要事項を記入し、ファックスでお申し込み下さい。

● 必要事項の記載された電子メールでもお申し込み可能です。

(地独) 山口県産業技術センター 産学公連携室 行き

企業・団体名：

連絡先： TEL - - FAX - -

E-mail @

参加者氏名	役職

◆申し込み締切◆2月24日(金)(当日参加受付可)

◆参加料◆無 料

【個人情報の取り扱い】

ご記入いただきました個人情報は、個人情報保護法に基づいて管理し、本技術発表会実施に関する連絡以外の目的で利用することはありません。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。